

令和4年9月22日

南アルプス市議会
議長 飯野 久 様

産業土木常任委員会
委員長 三木 充

産業土木常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、市が実施する事務事業「ユネスコエコパーク推進事業」について所管事務調査を行うことを決定し、令和4年6月17日の本会議において、閉会中の継続審査とすることを議決しました。その後、委員会を開き調査した結果について、次のとおり報告します。

1 調査日

令和4年6月20日 事業の調査研究
令和4年7月15日 事業の調査研究
令和4年7月25日 担当課との協議
令和4年8月 5日 委員間討議
令和4年8月17日 委員間討議・総括

2 調査概要

本委員会では、担当課から関係資料の提出を求め、提出された資料を確認する中で調査を進めた。また、委員会による調査だけでは不明な点もあったため、担当課から説明を求め、事業の現状を確認した。その後、各委員が評価を行い、各委員による評価理由の発表、委員間での討議を経て、委員会として事務事業の評価を取りまとめた。

3 調査結果

ユネスコエコパーク推進事業は、SDGsの理念にもつながり、これからの南アルプス市のまちづくりの基本理念となるべき必要性の高い事業である。

また、自然と人間社会の共生というユネスコエコパークの理念は、分け隔てなく全ての市民に恩恵を及ぼすものであり、市が中心となって積極的に推進すべき有効な事業である。

効率性の点では、継続して実施することにより、教育、観光、環境、地域ブランド力の向上などさまざまな分野で市の魅力を向上させることが期待でき、費用に見合った効果が得られる事業であると考えられる。

南アルプスユネスコエコパークを構成する10市町村の中では唯一「ユネスコエコパーク担当」という専任の担当を設置し、能力・意欲の高い担当職員が、真摯に事

業に取り組んでいる点は評価する。南アルプスの玄関口として、また、「南アルプス」という名を冠する市として、さらなる先進的な取り組みを期待する。

執行部が作成している事務事業マネジメントシートの「改革改善に向けた課題」の中に「本市におけるユネスコエコパークの認知度が低迷しているので、より積極的に普及啓発を行う必要がある。」と記載されているが、同感である。今後の方向性としては、「予算の概要」の事業内容の欄に記載されている「ユネスコエコパークの理念」および「SDGs」の住民への周知および啓発をさらに推進していただきたい。

具体的には、市内小中学生への自然環境教育プログラムの持続的な実践、市民が南アルプスユネスコエコパークについて知る機会・体験する機会を大幅に増加させること、ふるさと納税等を活用した予算の充実、事業の目的をより有効に遂行するための組織の再編成が必要であると考えます。